

株式会社 国山

エコアクション21

2019 年度(2019. 4～2020. 3)

環境活動レポート



発行：2020年4月6日

1. 環境方針

基本理念

株式会社国山は、地域環境の改善を重要な課題と位置づけ、産業廃棄物処理事業の活動を通じて環境への負荷低減に積極的に取り組めます。

そのためエコアクション21に基づく環境経営システムを構築・運用することにより継続的かつ着実に環境保全活動を行い、次世代に継承できる環境の実現を目指します。

行動指針

当社は、地球生活環境向上及び地球環境保全への積極的な対応を企業理念とし、住みよい地球と豊かな人間環境づくりへの貢献を目指して活動します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。

節電を励行するとともに、廃棄物処理における効率的なエネルギー使用を推進します。
エコドライブを実施して社用車(収集運搬車)のガソリン、軽油の使用量を削減します。

2. 廃棄物の削減。

書類の電子化を推進するなど、紙使用量の削減を図ります。

3. 水使用量の削減。

節水に努め、水使用量を削減します。

4. 受託業務である路盤材・コンクリート用骨材製造において、省エネ等環境負荷の低減に努めます。

5. 排出業者に廃棄物の分別排出を推奨・提案します。

6. 環境にやさしい製品・サービスの採用を進めます。

7. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。

8. 地域社会と良好な環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。

9. この環境方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。

10. この環境方針は広く一般に公表します。

2019年4月1日
株式会社国山
代表取締役社長 姜 徳洪

2. 事業の概要

事業所名 株式会社国山

代表者名 姜 徳洪

所在地 本社 〒759-0206 山口県宇部市東須恵 2067 番地 1
共英製鋼(株)作業所 共英製鋼(株)山口事業所内
(山口県山陽小野田市大字小野田 6289-18)
東沖作業所 共英製鋼(株)東沖管理型最終処分場内
(山口県山陽小野田市大字末広 7525 番 19)

環境管理責任者 姜 徳治 (兼・連絡担当者)

連絡先 TEL 0836(41)0652 FAX 0836(44)0652

設立年月日 2007年6月21日

資本金 10百万円

事業の内容 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬業、
構内受託業務(路盤材・コンクリート用骨材製造等)、
一般貨物自動車運送業

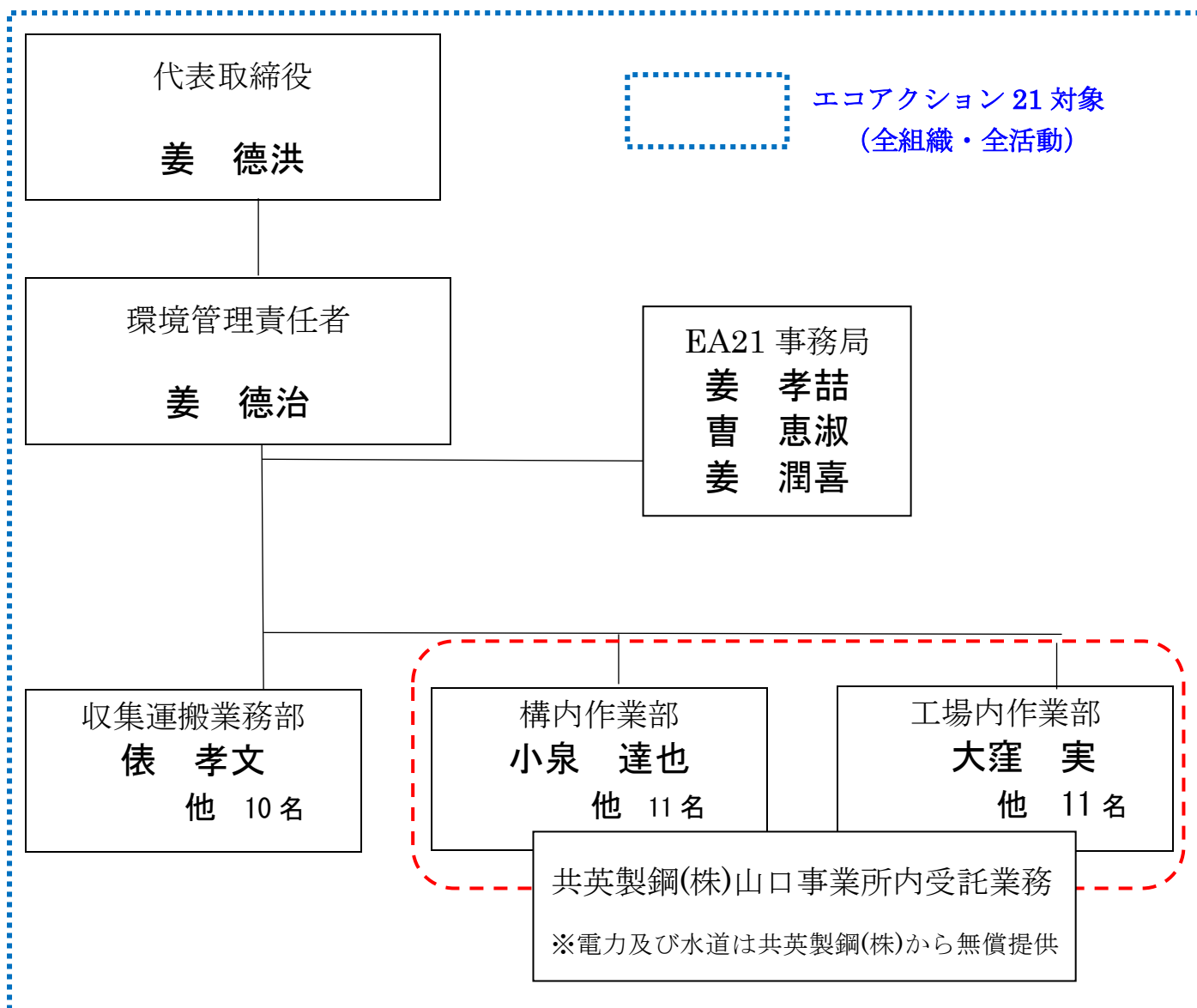
事業の規模

	単位	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	百万円	316	287	399
従業員数	人	39	40	41
保有台数	台	7	7	8
産業廃棄物収集運搬量	t	162	141	651
特別管理産業廃棄物収集 運搬量	t	2	2	0.9

当社の事業年度 4月1日～翌年3月31日

認証・登録の範囲 全組織・全活動

3. 組織図及び認証・登録の範囲(認証・登録範囲は以下の通り)



役割分担

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
姜 徳洪	代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施する為の資源の準備、全体の評価と見直し
姜 徳治	環境管理責任者 (専務取締役)	全体の把握、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告
姜 孝喆	EA21 事務局	EA21 文章及び記録類の作成・維持・管理
曹 恵淑		電力・水使用量の管理
姜 潤喜		廃棄物の廃棄量管理、リサイクル率管理
姜 孝喆		車両燃料(ガソリン、軽油)、灯油の使用量管理

4. 2019年度及び中期環境目標					作成年月日	環境管理責任者	作成者
					2019. 4. 1	姜	姜
環境目標	単位	2018年度 (基準年度)	2019年度	2020年度	2021年度		
1	二酸化炭素の総排出量の削減	kg-CO ₂	348,052.0	341,091.0 2.0%	339,350.7 2.5%	337,610.4 3.0%	
	1-1 電力使用量の削減	kWh	1,088.0	1,066.2 2.0%	1,060.8 2.5%	1,055.4 3.0%	
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	5,926.0	5,807.5 2.0%	5,777.9 2.5%	5,748.2 3.0%	
	1-3 灯油使用量の削減	ℓ	1,534.0	1,503.3 2.0%	1,495.7 2.5%	1,488.0 3.0%	
	1-4 軽油使用量の削減	ℓ	127,560.0	125,008.8 2.0%	124,371.0 2.5%	123,733.2 3.0%	
2	廃棄物の総排出量の削減	kg	-	少量の為計測は行わず、廃棄物削減行動の徹底に取り組む			
3	総排水量の削減	m ³	7.00	少量の為計測は行わず、節水行動の徹底に取り組む			
4	グリーン購入 (購入機会ごとに配慮する)	配慮件数 ／総件数	-	1件以上			
5	近隣の清掃	実施回数/月	-	1回			

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、中電の2017年度の調整後排出係数：0.677kg-CO₂/kWhを適用

※ 事務所内水資源及び自社発生廃棄物(事務所内書類屑など)、少量のため計測は行わず取り組みのみ行う。

5. 2019 年度環境活動計画

目標	活動項目	責任者	スケジュール	実施状況の評価結果												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
二酸化炭素排出量の削減	1 電力使用量の削減	1 昼休時間の消灯	曹	通年	実施											
		2 照明及び空調の部分使用	曹	通年	実施											
		3 省電力設定の徹底（パソコン、コピー機）	曹	通年	実施											
		4 空調の適温化の徹底	曹	夏冬				実施					実施			
		5 空調フィルターの定期清掃	曹	使用后(毎月)			実施					実施				
	2 ガソリン使用量の削減	1 ふんわりスタート	依	通年	実施											
		2 十分な車間距離	依	通年	実施											
		3 早目のアクセルオフ	依	通年	実施											
		4 タイヤ適正空気圧	依	通年	実施											
		5 アイドリングストップの励行	依	通年	実施											
6 安全運転推進の活動		依	通年	実施												
7 走行ルート of 合理化		依	通年	実施												
3 軽油使用料の削減(車両)	1 エコドライブの励行	依	通年	実施												
	2 アイドリングストップの励行	依	通年	実施												
	3 安全運転推進の活動	依	通年	実施												
自社発生廃棄物の削減	1 印刷ミス防止の取り組み	姜	通年	実施												
	2 印刷枚数削減の取り組み	姜	通年	実施												
	3 社内文書の電子化の推進	姜	通年	実施												
	4 本社コピー印刷枚数の把握	姜	通年	実施												
水使用量の削減	1 節水活動の推進	姜	通年	実施												
	2 節水コマの導入	姜	通年	未実施												
グリーン購入の推進	1 資材、設備等購入時の環境配慮製品の導入推進	姜	通年	実施												
会社周辺の清掃	1 会社周辺を定期的に清掃を行う（1カ月に1回）	姜	毎月	実施												
特記事項(大きな実施内容、変化点)																

6. 目標の実績

・2019年度に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	2018年度 (基準年度)	2019年度	
			目標	実績
二酸化炭素量の削減	kg-CO ₂	348,052	341,091	355,349
電気使用量の削減	kWh	1,088	1,066	1,971
灯油使用量の削減	ℓ	1,534	1,503	934
ガソリン使用量の削減	ℓ	5,926	5,807	5,550
軽油使用量の削減	ℓ	127,560	125,008	131,323
水資源使用量の削減	m ²		節水行動を徹底	節水行動を徹底した
自社発生廃棄物の削減	kg		廃棄物削減行動の徹底	削減行動を徹底した
グリーン化商品の購入推進	配慮件数/ 総件数	—	1以上	1
会社周辺の清掃	実施回数 /月	—	1	1

※ 電気の二酸化炭素排出係数は、中電の2017年度の調整後排出係数：0.677kg-CO₂/kWhを適用

※ 自社発生廃棄物(事務所内書類屑など)、少量のため計測無し。取り組みのみ行った。

7. 環境目標及び環境活動計画の実施状況と評価

二酸化炭素排出量の削減：未達

・当社に於けるエネルギー使用量の95%を占める軽油使用量が目標の達成に至らなかった結果、二酸化炭素排出量の削減目標を達成できなかった。(約2%増加)

電気の使用量の削減：未達

・2018年12月に新事務所利用が開始され、事務員の増員と機材の増加等から電気の使用量が増加したため、去年度と今年度の間で大きなブレが生じてしまった。(約2倍に増大)

ガソリンの使用量の削減：達成

・アイドリングストップ、ふんわりスタートの励行により使用量削減目標を達成した。
(7%削減)

灯油使用量の削減：達成

・灯油を使用していた構内車両の老朽化による買い換えに伴って軽油の使用へと切り替えた事、事務所での灯油ストーブ不使用により削減目標を達成した。(40%削減)

軽油使用量の削減：未達

・アイドリングストップなどの取り組みを行ったものの、軽油を使用した構内作業車による作業の増加や増車などの要因により削減目標を達成する事ができなかった。(3%増加)

廃棄物の排出量削減：(数値目標掲げず)

・ペーパーレス化の推進・裏紙の利用等により自社発生廃棄物の削減を行った。

排水の削減：(数値目標掲げず)

・節水に努め、水使用量の削減を行った。

グリーン化商品の購入推進：達成

・社内用書類を再生紙の使用に切り替えた。

会社周辺の清掃：達成

・月に一度、各部署が持ち回り清掃を行った。

8. 来年度(2020年度)の取組内容

・事務所移転等事業形態に変化が生じたので、新たな環境目標、環境活動計画を策定し取り組む。

9. 許可内容

産業廃棄物処理業の許可に関する事項

項目	山口県	広島県	福岡県	島根県
許可の種類	産業廃棄物収集運搬業 特別管理含む	産業廃棄物収集運搬業 特別管理含む	産業廃棄物収集運搬業 特別管理含む	産業廃棄物収集運搬業 特別管理含む
許可番号	03506138310 03556138310	03400138310 03450138310	04000138310 04050138310	3200138310 3250138310
許可の年月日	平成 29 年 10 月 5 日	令和元年 6 月 23 日	令和元年 7 月 28 日	令和元年 7 月 22 日
許可の有効年月日	令和 4 年 10 月 4 日	令和 6 年 6 月 22 日	令和 6 年 7 月 27 日	令和 6 年 7 月 21 日
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（がれき類を除く）、陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物、感染性産業廃棄物、廃石綿等	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（がれき類を除く）、陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物、感染性産業廃棄物、廃石綿等	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（がれき類を除く）、陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物、感染性産業廃棄物、廃石綿等	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず（がれき類を除く）、陶磁器くず（自動車等破砕物を除く）、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、13号廃棄物、感染性産業廃棄物、廃石綿等
積替保管の有無	なし	なし	なし	なし

10. 産業廃棄物収集運搬車両

10t ダンプ車	4 台	4t ウイング車	1 台
8t ユニック車	2 台	10t ウイング車	1 台

11. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

環境関連法の遵守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去 3 年間ありません。

12. 代表者による全体評価と見直しの結果

・評価

目標に向けて取り組みを行ったものの、軽油使用量の削減に至らなかった為、二酸化炭素排出量の削減目標を達成できませんでした。

電気使用量は削減に努めたものの、未達となりました。

灯油使用量は石油ストーブの使用を控える等の取り組みによって、削減目標を達成する事ができました。

排水、廃棄物の排出量、グリーン商品の購入推進、会社周辺の清掃は達成でき、今後も計画の実行に取り組んでいきます。

・目標の見直し

2018 年度を基準年度として環境目標を制定したが、事務所の移設や車両の増車などの要因から目標の値が現実的な物ではなくなったと思われまます。

よって今年度(2019 年度)を基準年度とした環境目標の見直しを行い、それに基づいて環境活動計画の達成に取り組んでいきます。